

富士山自然学校通信 12月号



【11月の行事より】

11月7日（月）会員集会

10月で今年度のエコウォーク・会員観察会・会員集会がほぼ終了したので、今回はそれらを振り返ってみることにしました。はじめに主催側から「雨天中止が少なかった」「エコウォークちらしの内容・配布方法を改善したが、参加者数は例年並みだった」「会員集会でも近隣の観察・散策に出ることが多かった」という報告がありました。参加者からは「会員集会での散策は良かった」「高齢化を考慮して観察会の帰路はもう少しゆっくり歩いて欲しい」「エコウォークの行き先はあまり変えられないと思うが、新規の参加者をどう増やすのかが問題」「若い人なども考えるとSNSなどで広く呼びかけられないのか」「SNSの扱い方は難しい」「エコウォークのちらしを観光協会のHPで見られるようにならないか」等の意見が出されました。

「紅葉まつり」の最中でもあり、後半は「文学の森」に場所を移してカエデ等の落葉観察を行いました。確認できたのはイロハモミジ・オオモミジ・イタヤカエデ・オオイタヤメイゲツ・ウリハダカエデ・カジカエデ・ミネカエデ?・メグスリノキ等で、山中湖でよく見られるカエデは大体お目にかかれたようでした。集会の参加者は12名、散策の参加者は11名でした。



【12月の予定】

12月4日（月）冬季講座「富士山に生息する鳥類とその生態」 講師 水村春香（富士山科学研究所）

開催場所：旭日丘公民館

開始時間：午後1時半

講演概要：富士山には森林のみならず、草原も広く残されており、多様な鳥類が生息しています。どのような環境にどのような鳥がいるのかを紹介するほか、私たちの生活と深くかかわっている里山や草原に棲む鳥類の生態について解説します。

※冬季講座に参加される方は、12月2日（土）までに事務局までご連絡ください